

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年12月18日(2008.12.18)

【公開番号】特開2007-213548(P2007-213548A)

【公開日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-178111(P2006-178111)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 30/00 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

G 0 6 K 1/12 (2006.01)

G 0 6 K 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 3 2 6

G 0 6 F 17/60 5 0 6

G 0 6 K 1/12 F

G 0 6 K 7/00 U

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

材料に係る情報の閲覧要求を受け付けた場合に、当該材料に係る情報の提供をおこなう情報提供装置であって、

前記材料に係る情報と、携帯端末により読み取られ、かつ、当該材料に係る情報の詳細情報の読み出しに用いられる 2 次元コードに係る情報とを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された 2 次元コードに係る情報に基づいて 2 次元コードを前記材料に係る情報とともに出力する出力手段と、

前記出力手段により出力された 2 次元コードが携帯端末により読み取られることにより得られた材料に係る情報と、材料を保管する保管装置から取得した当該保管装置が保管している材料に係る情報とに基づいて、不足する第 1 の材料の判定をおこなう不足材料判定手段と、

前記不足材料判定手段により判定された結果を携帯端末に出力する判定結果出力手段と

を備えたことを特徴とする情報提供装置。

【請求項 2】

前記 2 次元コードは、前記詳細情報の記憶場所に係る情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供装置。

【請求項 3】

前記記憶手段は、前記 2 次元コードを用いて読み出される詳細情報をさらに記憶し、前記出力手段により出力された 2 次元コードが印刷され、印刷された 2 次元コードが携帯端末により読み取られた場合に、当該 2 次元コードに対応する詳細情報を出力する第 2 の出力手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報提供装置。

【請求項 4】

前記不足材料判定手段により判定された結果が前記判定結果出力手段により携帯端末に出力された場合に、前記第 1 の材料以外に確保された材料に係る知識情報を出力する知識情報出力手段をさらに備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供装置。

【請求項 5】

前記知識情報出力手段により前記第 1 の材料以外に確保された材料に係る知識情報が出力された場合に、当該知識情報に係る材料に係る情報と前記第 1 の材料以外に確保された材料に係る情報とに基づいて不足する第 2 の材料を検出する不足材料検出手段と、前記不足材料検出手段により検出された前記第 2 の材料に係る情報を出力する不足材料情報出力手段とをさらに備えたことを特徴とする請求項 4 に記載の情報提供装置。

【請求項 6】

材料に係る情報の閲覧要求を受け付けた場合に、当該材料に係る情報の提供をおこなう情報提供方法であって、

前記材料に係る情報と、携帯端末により読み取られ、かつ、当該材料に係る情報の詳細情報の読み出しに用いられる 2 次元コードに係る情報とを記憶する記憶工程と、

前記記憶工程に記憶された 2 次元コードに係る情報に基づいて 2 次元コードを前記材料に係る情報とともに出力する出力工程と、

前記出力工程により出力された 2 次元コードが携帯端末により読み取られることにより得られた材料に係る情報と、材料を保管する保管装置から取得した当該保管装置が保管している材料に係る情報とに基づいて、不足する第 1 の材料の判定をおこなう不足材料判定工程と、

前記不足材料判定工程により判定された結果を携帯端末に出力する判定結果出力工程と

を含んだことを特徴とする情報提供方法。